

Sanko. 北海道

札幌市中央区北1条西2丁目1
札幌時計台ビル8F
TEL (011) 232-3853 / FAX (011) 232-1138

「Sanko.北海道」は産業雇用安定センター北海道事務所からのお知らせです。

就任のご挨拶

厚生労働省北海道労働局
職業安定部長 ^{いのまた いおり} 猪俣 壹央里 氏



7月1日付で職業安定部長を拝命しました猪俣です。みなさま今後とも、よろしくお願いします。

この挨拶文を書くにあたって前任の鷹合さんが2年前に何を書いたのか確認してみたところ、少子化、人口減少について書いていました。この2年間で少子化、人口減少は世界的な課題として強く認識されたように思います。世界に目を向けると、例えばアジア圏の先進国・先進地域である韓国、台湾、香港、シンガポールなどは既に日本よりも出生率が低い。中国は世界第二位の経済大国ではあるものの、一人当たりGDPで見るとまだ先進国ではないですが、しかしすでに人口減少に入っています。富む前に老いるという言葉がありますが、中国はまさにその状況になりつつあります。また前任の鷹合さんと私は実是在タイ日本大使館の前任後任の関係でもあるのですが、タイという東南アジアの途上国で子どもがたくさんいるイメージを持つ人も少なくないのではないかと思います。しかしそのタイもすでに出生率が日本並みに低く、すでに人口は頭打ちになり近く人口減少に入る予想となっています。また、まだ貧しい途上国の人口大国という近年成長著しいインドですが、実は既に出生率が人口置換水準を切っています。今は途上国でも急速に少子高齢化が進んでおり、富む前に老いるどころではなく、貧しいまま老いることになりかねない状況です。

この世界的な少子化、人口減少の中で同時に起きているのは、地方の衰退と都市への集中です。先日発表された人口動態調査で地方の人口減少と東京を中心とした首都圏への人口のさらなる集中が示されましたが、この傾向は他の国も同様です。例えばタイは日本の大阪等のような第二第三の都市が事実上存在しておらず、バンコク一極集中が激しいです。こうした中でどのように地域機能を維持していくのか、有効な答えを出した国はないと思います。また、少子化、人口減少のスピードは日本政府の推計はもちろんのこと、国連などの推計よりも早く進んでいます。推計のたびに少子化、人口減少が早まっています。残された時間は少なく、地域にとってやるべきことはすぐにでも試してみる必要があります。

地域の機能維持に絶対的に必要なのは雇用です。そして今政府は労働の流動化を掲げています。人が停滞している場所は衰退していきます。政府のこの方針は必ずしも地方の話とリンクさせて考えられて

いるわけではないですが、私は労働の流動化は地方にこそ重要なことだと思っています。産業雇用安定センターの機能はそうした流動化にとって必要不可欠なものです。市場が機能するためには間に適切な仕掛けが必要です。北海道労働局は、産業雇用安定センターと緊密に連携して、地域の労働市場の機能がフルに発揮されるように全力でがんばります。

私は北海道に住むのははじめてです。私は観光地などを回るといようなことは苦手で、その地域での日常生活を楽しむということが好きです。北海道は特に気候が本州とはかなり違うので、それに伴って文化や生活様式などあらゆるものが違うと思います。そうした北海道ならではの生活をしてみたいと思います。

北海道事務所では、北海道労働局、ハローワークとともに企業間の出向マッチング支援や離職を余儀なくされる従業員の方々の再就職支援など、失業なき労働移動の実現に向けて緊密に連携しながら取り組んでいます。今回は7月1日付けで北海道労働局職業安定部長に着任されました猪俣部長から就任のご挨拶をいただきました。

きつとみつかる いい人、いい仕事

6つの取り組みで働く和雇用をサポート

- 1 離職する従業員の方の再就職をサポート**
事業主からや事業主関係、離職者のための再就職支援。離職者の再就職支援。離職者の再就職支援。離職者の再就職支援。
- 2 人材を確保したい企業に対するサポート**
人手不足や事業拡大に伴い、経営者が人材確保に悩む。離職者の再就職支援。離職者の再就職支援。離職者の再就職支援。
- 3 雇用を維持するための在籍出向をサポート**
経営者からや事業主関係、離職者のための再就職支援。離職者の再就職支援。離職者の再就職支援。離職者の再就職支援。
- 4 社員の人材育成やキャリアアップの支援をサポート**
社員の人材育成やキャリアアップの支援をサポート。社員の人材育成やキャリアアップの支援をサポート。社員の人材育成やキャリアアップの支援をサポート。
- 5 「キャリア人材バンク」で高齢者の再就職をサポート**
高齢者の再就職支援。離職者の再就職支援。離職者の再就職支援。離職者の再就職支援。
- 6 社員スキルアップや研修の支援をサポート**
社員スキルアップや研修の支援をサポート。社員スキルアップや研修の支援をサポート。社員スキルアップや研修の支援をサポート。

「再就職援助計画」のご案内

事業主の皆さまは、事業の縮小や廃止など1つの事業所で1か月に30人以上の離職者を生じさせる場合、ハローワークへ「再就職援助計画」を作成し提出する必要があります。

離職する従業員の再就職を援助するために ～「再就職援助計画」のご案内～

事業主は、相当数の労働者が離職を余儀なくされることが見込まれる事業規模の縮小等を行おうとするときは、「再就職援助計画」を作成し、公共職業安定所長の認定を受けなければなりません（労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律第24条）

再就職援助計画を作成しなければならない場合

事業主は、経済的事情により、常時雇用する労働者について1つの事業所で1か月に30人以上の離職者を生じさせる事業規模の縮小等（事業活動の縮小、事業の転換又は廃止を含みます。）を行おうとする場合、最初の離職者が生じる日の1か月前までに再就職援助計画を作成する必要があります。

また、離職者が1か月に30人未満の場合にも、任意で再就職援助計画を作成することができます。

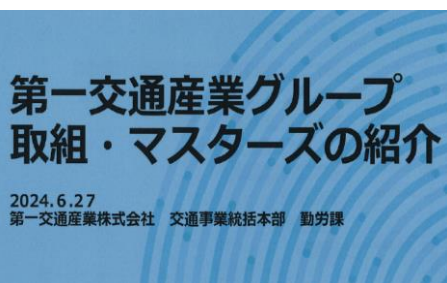
第一交通産業グループ「マスターズの会」

6月27日、苫小牧市のグランドホテルニュー王子において、苫小牧第一観光ハイヤー(株)様が主催した「マスターズの会」に、当事務所の岡野副所長と多田参与が出席しました。

「マスターズの会」は、現職のシニア乗務員が仕事の魅力を話し合い、求職者にタクシー業界の理解を深めていただき新規採用につなげていくことや、シニア世代の働きやすい職場づくりを目指すことを目的として、親会社である第一交通産業グループ（北九州市）が今年から全国各地で開いており、道内では札幌に続き2か所目の開催となりました。

当日は主催者のご挨拶、マスターズの紹介に続き、2テーブルに分かれ、現職乗務員、求職者、来賓の方々が混在して着席し、現職乗務員の体験談のお話のあと、和やかな雰囲気での質疑応答が行われました。

ご来賓として、北海道運輸局室蘭支局、ハローワーク苫小牧、苫小牧市産業経済部の職員の方々も参加されていました。



体験談のプレゼンターは、入社から2年が経過した現在63歳の乗務員の方で、前職は土木職に従事していたものの、体調を崩し体力的に辛くなり前職場を退職。乗務員募集のチラシを見て興味を持ったとのこと。入社前は土地勘に大変不安を感じていましたが、わからないことは乗客に素直に尋ねるようにしていくと乗客から教わることに大変意義を感じ、自身のスキルも磨かれていったとのこと。この仕事では時間のゆとりができ、経済面も問題なく、体調も改善し大変満足しておられるとのことでした。

苫小牧第一観光ハイヤー(株)様からは、このディスカッションを踏まえ、今後、応募・採用を増やすためにどのような取組をしたらよいかアイデアを求められました。

当事務所からは、地道な活動によりタクシー運転手の世界をもっとアピールしていくことが大切だと感じたこと、また、タクシー業界の知らないことも多々あり、このような機会をもとに、さらに業界への理解を深め、今後のマッチングにつなげていきたいとお答えしました。

次回もぜひ参加させていただきたいと考えています。



北海道・東北ブロック所長会議に出席

7月11・12日、山形県山形市において今年度第2回目の北海道・東北ブロック所長会議が開催されました。

各事務所における取組状況等の情報交換をはじめ、業務運営上の課題等について意見交換を行いました。

本部からは、矢野会長、岡村常務理事をはじめ、各担当部長等も出席され、業務の進捗・取組状況や関係機関との連携推進状況を共有したほか、意見交換等を実施しました。

開催地の山形事務所の皆さまには、大変お世話になりました！



雨上がりのJR山形駅です！

イトーヨーカドー帯広店離職者総合相談会

7月17日、ハローワーク帯広主催の「イトーヨーカドー帯広店離職者総合相談会・会社面接会」が帯広市の「とかちプラザ」で開催され、当センターも相談ブースを設置しました。

当日は、離職者の皆さまの雇用保険受給手続きと併せ、後継店となる(株)ダイイチ様の面接会も開催されましたが、総合相談会にはイトーヨーカドー帯広店を離職された93人が参加され、このうち約半数の方々が(株)ダイイチ様の面接を受けられました。

また、昨年9月に設置された「帯広地域大量雇用変動等対策本部」の構成員である各機関が相談ブースを設置し各種相談に対応しました。

今後も引き続き、離職された皆さまの再就職支援に取り組んでまいります。



賛助会員入会のご案内！

賛助会員への入会のご案内

センターの活動趣旨にご賛同いただける方（団体・企業・個人）であれば、どなたでも賛助会員に加入できます。ご入会をお待ちしています。入会は最寄りの事務所にお問い合わせ下さい。



◇会 費；1口／年額1万円

◇特典①；機関紙「かけはし」の無料配付

◇特典②；Sankoセミナーの賛助会員価格

◇特典③；職員の定期訪問による情報提供 等々